

委託業者による文書保管箱の紛失について

本年1月5日付で、当会の書類保管の委託先である株式会社アズコムデータセキュリティ（以下、「倉庫業者」という。）において、年金関係書類を保管する文書保管箱が所在不明になっていることを公表したところです。

その後、倉庫業者に対し、事実関係の聴き取りや作業現場の確認を行ってまいりました。作業現場の監視カメラ映像の専門業者による解析を含めた倉庫業者の調査結果を踏まえますと、所在不明の文書保管箱は誤って溶解処理した可能性が極めて高いとの判断に当会として至りました。

関係の皆様には多大なご心配とご迷惑をおかけすることとなり、深くお詫び申し上げます。

記

1. 事案の概要等

(1) 判明の経緯等

令和4年2月24日、倉庫業者から「専門業者による溶解処理工場の監視カメラ映像の解析の結果、所在不明の文書保管箱については、誤って溶解処理した可能性が極めて高い」との報告を受け、当会においても倉庫業者に対し事実関係の聴き取りや作業現場の実態調査を行った結果、文書保管箱は誤って溶解処理業者で溶解処理された可能性が極めて高いとの判断に至りました。

(2) 文書保管箱に保管されている書類

「退職届」、「組合員期間等証明書」など 856 名分
872

※ 調査の過程で 16 名分の個人情報が入っていないことが判明いたしましたので、対象者数を 872 名から 856 名に訂正いたします。

2. 対象の皆様（856 名）への対応

872

- ・令和3年12月27日付でご報告とお詫びの書面を発送。
- ・令和4年3月4日付で調査結果のご報告の書面を発送。

3. 再発防止について

当会では、本事案を重く受け止め、委託業者に対して抜本的な再発防止策を講じるよう強く求めることとし、今後、このような事案が発生しないよう業務委託の管理を徹底いたします。

(この件に関するお問い合わせ先)

(担当) 年金部管理課

03-3265-8141

(内線) 412 402 405